【別紙様式】

学力向上に効果のある取組事例

国東市立安岐中央小学校

④「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」の適切な設定

取組の具体①

◆安岐中央小スタンダードの徹底

○[伝え合い]を支える…学習規律・人間関係づくり
考えをもつ場・交流の場の設定

○[自分の考えをもつ]…子どもの思考にそった課題の設定
ワークシート・思考ツール等、考えをもたせる工夫

○[進んで伝え合う]……効果的な学習形態の工夫
子どもの意見をつなぐ支援の工夫

○セルフチェック

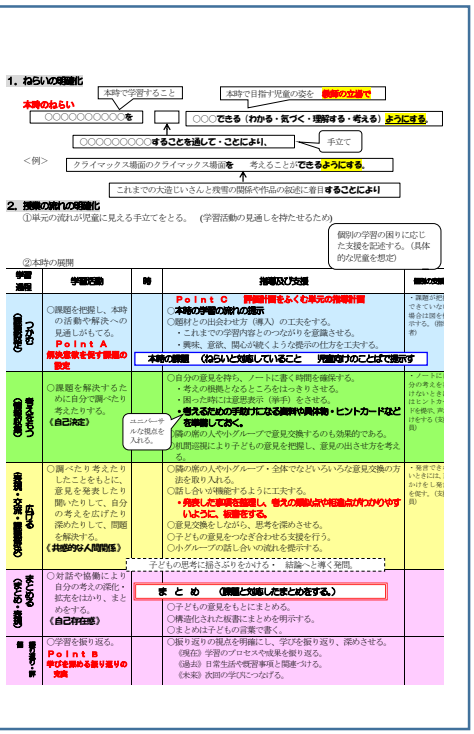
・毎月1回、教職員による振り返りを行う。
[つかむ][もつ][広げる][振り返る][個別の支援]の5項目を4段階で評価し、研究主任が集計・分析をして改善点を周知する。

○互見授業

・1ケ月に2名程度、互見授業を行う。学年部で1名以上の参観をする。本時案を配布し、参観者は6項目のチェック項目と感想欄を設けた観察シートに記入し、授業者にフィードバックしている。

○単元テストの結果の共有化

・テストの共通集計ソフトに入力し、児童名入りの分布表をファイルに綴じる。個別の躓きを職員間で共有し、指導に活かしている。
1ヶ月に一度管理職も確認をしている。



取組の具体②

◆外部団体のサポート

○親子ふれあい週間

・毎月1回親子で宿題等に取り組む活動を実施。取組状況を主幹教諭が集計・分析し家庭に還流している。
親子で取り組むことで、宿題確認や家庭独自の取組が昨年度より充実し、自尊感情等が向上してきている。

○ぐんぐんタイム

・週に1回、担任を含む複数体制で、朝の帯時間にドリル学習に取り組んでいる。丸付けは、保護者や地域のボランティアの方がしてくださっている。その間、担任は個別に定着できていない児童へのきめ細やかな指導ができている。

○よつばタイム

・週に1回、各学年とも複数体制で放課後の時間帯に補充学習や宿題のやり直しに取り組んでいる。
わからなかったところがわかるようになり、学習への意欲づけに役立っている。

○学びの教室

・教職員OBが、希望者を対象に毎月3回放課後に学習指導をしている。基礎基本の内容を中心に力をつけてきている。